

第19回統一地方選挙 当選御礼

福井地協は、2019年4月に執行された統一地方選挙において福井県議会議員選挙福井市選挙区から3名、坂井市選挙区、あわら市選挙区から各1名を、福井市議会議員選挙では、現職5名、新人1名の合計6名の推薦を決定して全員の当選に向けて選挙戦に臨みました。

福井市議会議員選挙福井市選挙区では定数12名に対して15名が、坂井市選挙区は定数4名に対して5名が、あわら市選挙区は定数1名に対して現職、新人がぶつかり合う激しい選挙戦となりました。

結果は、福井市選挙区で新人2名が、坂井市選挙区では現職1名が当選したものの、福井市選挙区の現職1名とあわら市選挙区では善戦及ばず当選には至りませんでした。

また、県議会議員選挙の1週間後に告示された福井市議会議員選挙では、定数32名に対して36名が立候補し、現職・新人がしのぎを削る選挙戦となりましたが、無事に6名全員の当選を果たすことができました。

これまでの皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

福井市選挙区		
渡辺 大輔	8,703票	当選
野田 哲生	9,480票	当選
井ノ部 航太	4,317票	
坂井市選挙区		
西畠 知佐代	7,215票	当選
あわら市選挙区		
山本 篤	4,135票	



福井市市議会議員選挙

福井市議会議員選挙		
堀川 秀樹	2,110票	当選
玉村 正人	3,485票	当選
酒井 良樹	4,486票	当選
村田 耕一	2,781票	当選
片矢 修一	2,032票	当選
中村 綾菜	4,511票	当選



日本労働組合総連合会福井県連合会
連合福井 福井地協ブログ
動くあなたの一番近くで。


ふくい地協

3月6日は36(サブロク)の日

連合福井は3月6日の36(サブロク)の日にあわせて、JR福井駅西口広場を出発点として県内全域でキャンペーン行動を展開し36協定の締結の必要性を訴えました。

JR福井駅西口広場の行動には福井地協から13名、推薦議員2名が参加。出勤途中の方々にチラシ入りティッシュを配布して長時間労働の是正と適正な労働時間管理、36協定の締結の必要性を訴えました。



36(サブロク)の日

法律(労働基準法第36条)で労働時間は原則1日8時間、週40時間と定められています。それを超えて残業せたり休日出勤させる場合は、会社は労働者代表と協定を結ばなくてはなりません。その法律は労働基準法の第36条で定められていることから36(サブロク)協定と呼ばれています。

連合ではすべての職場でより良い働き方を実現するために、長時間労働の是正に向けた機運をはかり、多くの人に「働き方」や「働くこと」について考えてもらうことを目的に、日本記念日協会に登録して「36(サブロク)の日」の認定を受けました。

“蝶よ花よ”～勝山左義長祭り街頭行動～

2月24日に開催された勝山左義長祭りの会場の一角で、UAゼンセン福井県支部の「北朝鮮による拉致被害者の早期救出」を訴える署名活動に併せて、福井地協を紹介するチラシ配布を行いました。

UAゼンセン福井県支部は、署名活動の傍らトン汁を無料で提供。長蛇の列がテントを囲みました。

昨年は大雪のため2年ぶりの実施となりましたが、当日は、汗ばむほど天候もよく、多くの人が訪れる中、福井地協幹事と勝山地区・大野地区連絡会委員のメンバー15名は街頭に立ってチラシ入りティッシュを配布しました。



【道行く方々に
署名のお願い】



【地協紹介チラシを
配る地協の仲間】

第90回メーデー・フェスティバル いこう 縁 憶 つながる 縁 愉 たのしむ

90回を迎えるメーデーを前に、4月28日（日）福井県産業会館において福井地協主催のメーデー・フェスティバルを「Enjoy ! May Day 翠（いこう）・縁（つながる）・愉（たのしむ）」と題して開催しました。

今回は、ステージパフォーマンスにクラウンサーカスに出演いただき、前回まで福井国体開催に向けたデモンストレーションとしていた国体ブースに自転車初乗り体験とBMXショー、また、働く車ブースには米原商事さんから高所作業車を展示・体験を目玉にしたメーデー・フェスティバルとしました。

フェスティバルは午前10時に「幸太鼓」のオープニングに始まり、キッズダンスやマジックショー、クラウンサーカスなど7組の団体・個人の方々にステージに出演していただきました。

出演していただいた方々はショーを見ている来場者を巻き込むパフォーマンスを展開して、見ているだけではなく一緒に楽しめるショーを繰り広げ来場者を喜ばせてくれました。また、急遽、就職活動?のため「はぴりゅう」も参加。YOSAKOIステージではキッズダンスや来場者とともにハピネスダンスを披露していただきました。

フェスティバルには、その他、美味しいお食事が並ぶケータリングや福井地協、福祉事業団体の方々に出店いただいた体験ブース「縁日広場」、キッズコーナーなど、ご来場いただいた皆様には一日楽しんでいただけたこと思います。

当日の天候は良かったものの、肌寒い一日となりましたが、地協役員の方々にご協力をいただき、メーデー・フェスティバルを無事終えることができました。

ご来場いただきました皆様、運営にご協力いただきました地協役員の皆様ありがとうございました。



【オープニング「幸太鼓」】



【キッズダンス「まなびサイト」】



【来場者とクラウンサーカス】



【BMX ショー】



【マジックショー】



【バルーンアート】



【YOSAKOI】



【YOSAKOI とハピネスダンス】



【来場者とはぴりゅう】

Enjoy ! May Day



【働く車「高所作業車」】



【働く車「京福バス」】



【キッズコーナー】



【地協ブース】



【美味しいケータリング】



【連合アンケート】

働き方改革とは? ~2019春闘学習会~

2019春闘の要求書が提出され交渉が本格化しようとする中、取り巻く情勢の認識を深めるため福井地協2019春闘学習会を2月14日ユニオンプラザにおいて開催しました。

学習会には福井地協加盟組合から役員46名が参加し、働き方改革関連法の概要と連合福井2019春闘方針の説明に耳を傾けました。

学習会では講師に土蔵労働コンサルタント事務所代表取締役の勝見秀樹氏をお招きし「働き方改革関連法の概要とその対応について」と題して、労働基準法改正に至るまでの経緯と見直された具体的な内容の説明をいただきました。

企業規模や特定の産業により一部除外されるものもありますが、今年4月から施行される内容で、講師からも事前に労使で改正の内容を確認し、しっかりと議論して運用する必要があると話され、参加した役員は改正内容に対する労働組合の対応について熱心に聞き入っていました。

また、連合福井2019春闘方針について玉川副事務局長は、企業規模や地域間、男女間格差が解消されないままの現状を打破するため、格差是正に重点を置いた方針となっていると説明し、そのためにも自身の賃金水準を確認する必要があると話し、連合福井の2018年賃金実態調査の有効活用とより多くの情報提供を呼びかけ加盟組合の賃金実態把握の重要性を語りました。



【熱心に聴講する参加者】



【講師勝見氏】



【玉川副事務局長】